

授業科目	社会的養護 I				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	笠 修彰										
授業概要	現代社会における子どもを取り巻く環境の複雑化を背景として、本来の家庭養護に困難が生じ、社会的養護を必要とする子どもが増加してきている。子どもの健全育成は、家庭や地域のみならず児童福祉施設や里親等の社会的養護に支えられているとあって過言ではないだろう。そこで、本講義では、社会的養護の歴史の変遷やその意義、子どもの権利擁護を踏まえた社会的養護の基本、社会的養護の実施体系や関連する制度・施策、社会的養護の対象や関係する専門職等について学び、社会的養護の現状と課題について理解を深めたい。										
授業形態	講義	授業方法	グループワークやディスカッションを取り入れる。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について説明できる。 2. 子どもの権利擁護を踏まえた社会的養護の基本について説明できる。 3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解し、説明できる。 4. 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解し、説明できる。 5. 社会的養護の現状と課題について保育実践と関連付けて理解し、これから必要となる視点や役割を考えることができる。 										
理想的レベル	標準レベルに加え、社会的養護で学習した内容と保育実践とを関連付けて深く理解したうえで、保育実践でいかに応用できるかを考え出すことができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験	60%										
小テスト	20%										
レポート	20%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH11106J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
テキスト、配布資料をもとに授業で学んだことを振り返るとともに、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。										4	
授業計画											
第1回	テーマ：オリエンテーション 社会的養護を学ぶ目的と意義についての理解と、授業概要のオリエンテーション。										
第2回	テーマ：社会的養護の基本理念										

	社会的養護とは何か、社会的養護の原理等について学習する。
第3回	テーマ：社会的養護の成り立ち 社会的養護の芽生えから現在に至るまでの歴史的変遷について学習する。
第4回	テーマ：子どもの権利擁護 子どもの権利に関する法律や宣言、子どもの権利擁護に関する取り組みなどを素材として、子どもの権利について考察する。
第5回	テーマ：社会的養護の基本原則 施設養護が子どもの心理や発達に与える影響、アイデンティティの形成と強化等の学びを踏まえ、社会的養護の基本原則について考察する。
第6回	テーマ：社会的養護における保育士等の倫理と責務 専門職としての職業倫理、倫理綱領の機能や意義について学習する。
第7回	テーマ：社会的養護の制度と法体系 社会的養護の制度の根幹、社会的養護の基本法及び関連法規等について学習する。
第8回	テーマ：社会的養護のしくみと実施体系 社会的養護の基本構造や実施体系について学習する。
第9回	テーマ：社会的養護とソーシャルワーク ソーシャルワークとは何か。またソーシャルワークの価値倫理や援助アプローチについて学習し、社会的養護におけるソーシャルワークの必要性について考察する。
第10回	テーマ：社会的養護の対象と支援の在り方 措置に至る理由、児童虐待と社会的養護、措置解除後の支援等について学習する。
第11回	テーマ：家庭養護と施設養護 家庭養護と施設養護それぞれの特徴や共通点等について学習する。
第12回	テーマ：社会的養護にかかわる専門職 求められる専門性、社会的養護にかかわる専門職、保育士と他の専門職との連携について学習する。
第13回	テーマ：社会的養護に関する社会的状況 現代社会における養護問題、近年における児童福祉法改正と「新しい社会的養育ビジョン」等について学習する。
第14回	テーマ：社会的養護と地域福祉の現状と課題 施設内での加害・暴力・虐待、社会的養護とソーシャルアクション、社会的養護の地域化などの現状を学習し、社会的養護の今日的課題について察する。
第15回	テーマ：まとめ 本科目における学習内容を振り返り、総括する。
テキスト	公益財団法人児童育成協会監修『社会的養護 I』中央法規 保育福祉小六法編纂委員会編『保育福祉小六法』（株）みらい
参考図書・教材／データ	小池悦子・辰己隆編『保育士をめざす人の社会的養護』（株）みらい 中野菜穂子・水田和江編『社会的養護の理念と実践』（株）みらい その他参考図書については、授業のなかで紹介します。

ベース・雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	・小テストや課題に関しては、次の授業の際にポイントを整理しフィードバックを行う。
学生へのメッセージ・コメント	<p>子どもや家庭、地域を支援する専門職である保育士は、社会的養護の主要な担い手です。本科目の学習内容への理解を確実なものとするため、社会的養護に関連する問題や情報に広く関心を持ち、積極的に学び取り組む姿勢が必要となります。</p> <p>授業に臨むにあたり、予習、復習を心がけましょう。また、日頃から新聞やニュースなどに親しむことを通して、保育を取り巻く現状に実践的関心を持ちましょう。</p>